

## 令和5年度 猪苗代町教育委員会

### 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書（概要）

#### 1 教育委員会の点検・評価について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正が行われ、新たに教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされた。

（法第26条第1項）また、上記の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされている。（同条第2項）

#### 2 猪苗代町教育委員会の点検・評価について

##### （1）点検・評価の対象根拠

猪苗代町教育委員会基本目標に基づき、令和5年度の重点事項の執行状況を対象とした。

##### （2）令和5年度重点事項

別紙の通り

##### （3）評価の具体的な方法

①事業名

②項目

③達成目標・内容（数値目標）

④点検・評価（自己評価）

⑤有識者による意見・評価

##### （4）学識経験者の知見の活用

点検及び評価を行うに当たっては、教育に関する学識経験を有する者の知見の活用を図ることにより、客観性を確保するためのものであり、猪苗代町教育委員会の教育に関する事務の点検及び評価の実施に関する要綱に基づき、3名の委員の方々から様々な意見・指導を得ることができた。

① 外部評価開催日：令和6年8月20日

② 猪苗代町教育委員会外部評価委員 3名

#### 3 点検・評価の結果

別紙の通り

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

1 教育総務課

重点事項	充実した活力ある学習環境の整備		
事業名	1. 学校施設の長寿命化と適正配置		
主要項目	①町教育施設適正配置の推進 ②感染症対策等の学校教育活動継続支援		
自己評価	統合中学校屋内運動場・グラウンド整備工事をを行い、令和6年3月に完了した。小学校統合に向けた整備工事をを行い、統合小学校開校に向けた準備を進め、スムーズな通学を行うため、保護者向けの説明会を実施し、児童・保護者の不安解消に努めた。また、感染症対策として、各学校にて消毒液やマスク等の消耗品を購入し、感染症対策に努めた。		C
外部評価	統合によりスクールバスがどのように運行されるか保護者に不安があったが、保護者向けの説明会を行い、聞く機会を設けたことは良かった。通学路、校舎の問題がこれから出てくると思うので対処してほしい。		C
重点事項	「生きる力」の基礎を培う教育活動の実践、支援		
事業名	1. 園児、児童生徒に夢と希望を与え、生きる力の基礎を培う園、学校づくりの推進 2. 国際化、情報化等（変化）に対応する教育の実践 3. キャリア教育の推進 4. 生徒指導の充実		
主要項目	①存在感(特色)のある、学校づくりの実践、②「私たちの誓い6ヶ条」運動の実践 ほか		
自己評価	町特別支援教育アドバイザーの配置により、特別な支援を必要とする園児児童生徒の支援のあり方について助言を行うことができ、キレ目のない支援を推進することができた。また、支援員を1名増員することにより、支援を必要とする児童生徒にきめ細かく対応する環境整備ができた。さらに、研修会を通して、支援員自身が特別支援教育に関する理解や支援の方法を学ぶことができた。SNSなどに関する情報モラル教育の推進については、授業や外部講師による講義を実施し、主にSNS利用の危険性・配慮すべき点等について理解を深めることができた。小学生は農業体験や見学学習を通して収穫の喜びや充実感を味わうことができた。中学生は、職業に関する学習や体験を通して働くことの大切さや意義を学ぶなどキャリア教育の推進を行った。いじめの未然防止の取り組みを行った。いじめの認知件数は昨年より減少し、学校との情報共有や指導助言、スクールカウンセラーの活用により重大な案件には至っていない。		C
外部評価	猪苗代わくわくブック運動について、3学期は統合に向けた図書移動により、あまり本が借りられなかった状況であるが、完読賞が増えたことは評価できる。子どもたちは、タブレット、スマホを簡単に操作しており、子どもたちが不必要で危険な情報を目にしたり、依存に繋がることが心配される。子どもの心身は発達段階にあり、ネット犯罪、情報モラル、誹謗中傷などダメなことを家庭・学校で教えながら利用してほしい。		B
重点事項	「確かな学力」を育む授業づくりの実践、支援		
事業名	1. 一人一人に確かな学力をつけさせる授業づくりの実践 2. 各学年、学級、個人の学力実態把握による授業改善の実践・支援 3. 一人一人の学習意欲を喚起し、やる気を育てる工夫、実践		
主要項目	①個人研究、校内研究の推進及び町学力向上推進事業による授業研究会、学力検査の実施と結果の分析・活用 ほか		
自己評価	外部講師による授業提供や講義を受けることにより、教職員が日々の指導の疑問を解決したり、授業のコーディネート仕方を学んだりするなど確かな学力を育む授業づくりの一助となった。協働的な学び、個別最適な学びにつなげるよう、中学校では各教科でミライシードを積極的に活用した。外部講師からICT機器の効果的な活用について教員が学ぶことができた。学力調査の結果は、国語については、小・中学生ともに、概ね学力が定着し、確実に伸びてきているが、算数・数学、英語については、全国平均を下回る学年があり、学力が伸び悩んでいる。福島県全体の課題でもあるが特に中学校の数学、英語の学力向上が課題となっている。国語科においては、考えの根拠を示したり話し合いを通して自分の考えを広げたり深めたりすることが出来る授業を目指している。算数・数学科においては、基礎的・基本的な数学的・技能の向上を図るとともに、数学的な見方・考え方を押さえ、児童生徒が解決方法を説明したり、次につながる考え方や知識を身につけられるようにしたりすることができる授業を目指している。スプリングコンテストや各種検定を実施することにより、学習の基礎基本の定着を図り、目標をクリアすることで学習意欲を高めたり自信をもったりすることにつながった。		C
外部評価	東京学芸大との連携は、先生方の悩みへのアドバイスを受け、先進的な授業に触れたりすることが出来る非常に良い機会である。教職員のスキルアップした成果を子ども達の確かな学力向上に繋げてほしい。それぞれ教科の課題が明らかになっているので、課題解決に尽力頂きたいし、学校だけでなく家庭での学習の取り組みも重要である。英語、数学の学力が低くなっており、考える力・判断する力を養ってほしい。		C
重点事項	「健やかな体」をつくる教育活動の実践、支援		
事業名	1. 園児、児童生徒の体力、運動能力の増進 2. 家庭や地域、関係機関との連携による園児、児童生徒の健康増進 3. 災害等緊急時の対応や放射線健康リスク管理に関わる危険予知・対処・回避能力の育成		
主要項目	①体力運動能力の増進、各種大会参加支援 ②食育の推進 ③交通安全教室や放射線教育の実施 ほか		
自己評価	本町の子どもたちの体力、運動能力の実態調査では、体力合計点5段階評価の下位層の割合は減少した。小学男子19.0%（R4 20.0%）、小学女子10.0%（R4 13.0%）「体力合計点」は小学校、中学校ともに全国及び県平均を上回っている。朝食の摂取率調査（年2回）の結果、小学校98.9%（R4 98.9%）中学校96.8%（R4 92.5%）平均97.8%（R4 95.7%）であった。各小中学校の緊急時対応マニュアルの取り組みにより、災害時の対応について学ぶことができた。また、通学路の点検を行い、路面標示の引き直し、歩道ガードレール設置工事等により、ドライバーに注意喚起を図り、歩行者の安全確保に努めた。		B
外部評価	体力・運動能力向上のため指導主事が各学校で指導をしていることは、町独自の取り組みで評価できる。朝食の摂取率が目標を達成出来て良かった。安全点検については、痛ましい事故が起らないように引き続き関係団体と調整して子ども達の安全な通学に対応してほしい。		B

評価基準	自己評価	A：大きく上回る	B：やや上回る	C：目標達成	D：やや下回る	E：大きく下回る
	外部評価	A：期待以上	B：やや上回る	C：期待どおり	D：やや下回る	E：期待以下

## 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

## 2 こども課

重点事項	充実した活力ある学習環境の整備		
事業名	1. こども園施設整備・修繕、教育保育備品整備事業		
主要項目	園児等の快適な教育環境を維持するため、施設の整備・修繕及び教育備品等の整備を行う。		
自己評価	ひまわりこども園は開園8年目、さくらこども園は開園12年目を迎え、園舎や設備等に経年に伴う不具合等が発生したが、適宜、修繕を実施するとともに、備品整備や保育室の畳表替えを行い快適な教育・保育環境の維持に努めた。また、令和4年度に各こども園に導入した保育施設ICTシステムについて、令和5年度からは園児の登降園管理、通園バス運行管理、写真販売等、使用する機能を追加し、業務の効率化と利用者サービスの向上を図った。		C
外部評価	子どもたちが快適に安全・安心に過ごせるよう、引き続き環境整備に努めていただきたい。ICTを活用し、個人情報に配慮しつつ、業務効率化に努めていただきたい。		C
重点事項	「生きる力」の基礎を培う教育活動の実践、支援		
事業名	1. 園児に夢と希望を与え、生きる力の基礎実現を培う園づくりの推進 2. 変化に対応する教育保育の実践 3. 指導の充実		
主要項目	①存在感（特色）あるこども園づくりの実践②特別支援教育の推進 ほか		
自己評価	施設周辺の住民や自然に触れ合いながら教育保育を実施した。また、農作物を育て、収穫し、食するという体験を通して食べ物の大切さを学習し、さらには情操教育の一環として茶道教室を開催して正座や作法、礼儀を学ばせるなど、特色ある教育保育活動を実施することができた。特別支援が必要な子どもには専属で保育教諭を配置して対応し、障がい児支援の研修にも積極的に参加してスキルアップを図った。園児が集団での遊びや当番活動により、友達との信頼関係を深めるとともに、さまざまな年代と交流することで人との関わり方を育んだ。		C
外部評価	これからも子どもたちに様々な体験・経験をさせていただきたい。引き続き特別支援に関するスキルアップに力を入れていただきたい。また、様々な年代の方との交流することで、豊かな人格形成が図られるので引き続き実施してほしい。		C
重点事項	「確かな学力」を育む授業づくりの実践、支援（学びの連続性がもてる保育環境作りの実践、支援）		
事業名	1. 一人一人に確かな学びの基礎を培う教育保育の実践 2. 一人一人の学びの意欲を喚起し、やる気を育てる工夫、実践		
主要項目	①共通テーマに基づく研究の実践、研修参加推進 ②幼小の円滑な接続の重視 ほか		
自己評価	少ない研修機会に多くの保育教諭が参加し、講演や他園の研究事例等を学習することにより、研修で得た知識を他の保育教諭と共有し、教育保育の現場での実践に役立てた。年長組が小学校へスムーズに入学できるように、交流事業、体験入学や保育教諭と小学校教諭との引き継ぎ面談を行った。特別支援が必要な子どもの就学については、小学校、教育総務課及び保護者と連携を取り対応した。笑顔で元気に園生活を送ることを目標に、毎朝、リズム体操を実施し、活発な行動を促した。また、絵画コンクールに出品することで、絵を描く楽しさ、豊かな感性と表現能力を培った。		C
外部評価	先生方が研修会で情報交換を行い自己研鑽して、子どもたちに還元してほしい。年長児がより早く、スムーズに小学校生活になじめるよう、幼小連携・情報交換の場を多く持とうとしている点が評価できる。今後も幼小の情報交換の場を多く持っていただきたい。		C
重点事項	「健やかな体」をつくる教育活動の実践、支援		
事業名	1. 園児の体力、運動能力の増進 2. 家庭や地域、関係機関との連携による園児の健康増進 3. 災害時緊急時の対応や危険予知、対処・回避能力の育成		
主要項目	①体育的行事の充実 ②「早寝・早起き・朝ご飯」運動の実践 ほか		
自己評価	園庭や遊戯室を有効に利用し、日ごろから体を動かす遊びを取り入れて健康で元気な体づくりに努め、運動会ではその成果を十分発揮することができた。また、毎日の園生活を元気に怪我をしないで過ごすために、朝のラジオ体操やリズム体操を実施し、基礎体力の向上を図った。早寝・早起き・朝ごはん運動を実践し、園児の朝食摂取率はほぼ100%であった。コロナ禍で実施を見送っていた歯科教室を再開して、歯科衛生士による講話と指導をいただき、むし歯の有病率は前年度と比較して大幅に減少した。各こども園で初めて実施した引き渡し訓練では、事前に様々なケースを想定して準備を行い、訓練当日は確実に園児を保護者に引き渡すことができた。		B
外部評価	朝食の摂取率ほぼ100%は素晴らしい。毎月避難訓練を実施していただき大変ありがたい。繰り返し訓練することにより、有事の際に身に付いた行動がとれるようになる。引き渡し訓練を今後も継続して実施していただきたい。		B
重点事項	「家庭の教育力」の回復		
事業名	1. 園、学校・家庭・地域社会の連携、協力体制の構築、推進		
主要項目	①こども園PTAによる各種事業、活動の推進 ②広報活動の実践 ③子育て支援 ほか		
自己評価	行事の運営にあたっては、多数の保護者の協力を得て、運動会や保育発表会などスムーズな運営をすることができた。また、園運営に地域の方々からさまざまな協力をいただき、地域との良好な関係を構築できた。朝夕の保護者との連絡・報告、園だよりの発行、連絡帳の活用等により信頼関係を構築することができた。保護者への連絡やおたより配布については、ICTシステムを活用することにより、速やかな情報発信が可能となった。また、子育て相談は、家庭事情や障害に関連するケースなど内容が多様化・複雑化しており保健福祉課や関係機関と連携して対応した。		B
外部評価	保護者との連絡を密にし、信頼関係を構築できていることは大変素晴らしい。今後も信頼関係の構築に努めていただきたい。ICTシステムを活用し、ペーパーレスでおたよりを配信していることは大変評価できる。		B

## 評価基準

自己評価	A：大きく上回る	B：やや上回る	C：目標達成	D：やや下回る	E：大きく下回る
外部評価	A：期待以上	B：やや上回る	C：期待どおり	D：やや下回る	E：期待以下

## 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

## 3 生涯学習課

重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	1. 生涯学習の推進		
主要項目	①学習機会と情報提供、相談体制の整備 ②世代間交流事業の充実 ほか		
自己評価	新型コロナウイルスの感染拡大防止等のため内容を変更した講座やイベントもあるが、感染対策や実施方法等について関係者で協議し、可能な限り開催した。放課後子ども教室については、コロナの状況を見据えながら学校や児童クラブなどとも検討を重ね地域住民のご理解ご協力により、安心・安全な体験を提供するように努めた。		C
外部評価	新型コロナウイルスの感染対策に努めたことが安心・安全な参加に繋がっており、放課後子ども教室でも大勢の子どもたちが様々な体験を楽しんでいる。各種講座の参加者に対するアンケートを実施することによって町民のニーズを把握することは大切であり、今後も続けて欲しい。		C
重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	2. 図書歴史情報館（和みいな）利活用の推進		
主要項目	①図書館サービスの充実 ②歴史情報室の利活用 ③和みいなボランティアの育成と活用 ほか		
自己評価	年間の来館者数、貸出冊数は前年実績に届かなかったが、コロナ禍で休止していたボランティアの活用について、読み聞かせや各種イベント、学習会など育成と活用を図ることができた。 こども園と児童クラブへは、通常程度本の貸出を行うことができ、読み聞かせも前年以上に開催することができた。 また、企画展として開催した猪苗代ビブリオバトルや和みいな開館10周年記念講演会、ハロウィン・クリスマス等の季節のイベントでは、会場を埋める参加者を集客することができた。		C
外部評価	児童クラブや日向ぼっこ読み聞かせは子どものうちから読書に親しむよい機会なので、多くの親子に体験して欲しい。図書の貸出冊数は減少しているが、児童書の貸出割合が全体の40%を超えており、幼少期から読書に親しんでいるのが分かる。図書館では特集コーナーや本の並べ方など新しい本との出会いを提供してもらえる。歴史情報室ではブリオバトルや企画展など、毎年魅力的なイベントを開催していただいているので、多くの方に来館してもらえるよう効果的な広報活動をしてほしい。		C
重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	3. 文化財の調査・保存・活用事業の推進		
主要項目	①史跡の調査、保存・活用 ②民俗資料の調査、収集・活用 ③埋蔵文化財の調査 ほか		
自己評価	県指定史跡である猪苗代城跡附鶴峰城跡を国指定史跡とするため、文化庁の指導を受け事業を進めている。猪苗代町歴史民俗資料館は開館2年目を迎え、小学校の学習利用など町内外から約580名の来館者があった。 文化財の保存では、旧二本松街道松並木伐採集積業務や町指定天然記念物保存事業により、史跡の安全確保や磐椅神社の大鹿桜の保存に務めた。また、翁島地区の西谷地遺跡内における鉄塔立替工事に係る試掘調査を実施するなど埋蔵文化財の保存に務めた。		C
外部評価	猪苗代城跡附鶴峰城跡の国指定史跡を目指して専門職の確保をお願いしたい。猪苗代町には多くの歴史や文化財が存在しており、歴史や伝統を後世に伝えることは大切なことである。歴史民俗資料館では懐かしい展示品をそろえ魅力的な企画展を開催しているがPRが足りないと感じるので、広報活動に尽力してほしい。		C
重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	4. 生涯スポーツの振興		
主要項目	①町民を対象にした各種大会や教室等の充実 ②総合型地域スポーツクラブの活用と体力の向上 ほか		
自己評価	各種大会や教室等の充実については、町民球技大会・町民運動会の開催方法等の検討をして見直しを行った。結果、町民球技大会は地区大会を廃止し、新たな方法で大会の開催を行った。令和2年度から開催を中止していた町民運動会については、令和5年度中に開催方法を検討し、令和6年度から参加型のイベントとして猪苗代町スポーツフェスティバルを開催する。ふくしま駅伝では中学校主体のチーム構成であったが、町の部5位に入賞するなど、子供たちの活躍が際立った年度となった。また、令和4年度から開催しているスキースキーのインカレについては、雪不足のため開催中止となった。 総合型地域スポーツクラブについては、会員登録数398名であり、それぞれの活動を行っているがコロナの規制緩和により運動不足解消者が増加し、スクールコース、健康増進コース、プライベートコースのそれぞれの参加者が増加した。さらにスポーツ少年団指導者の育成、各種セミナーや研修会の参加、公共スポーツ施設の整備、健康運動教室の開催など生涯スポーツの振興に努めた。		C
外部評価	猪苗代町スポーツフェスティバルは町民運動会に代わる新たな町のイベントとして、集客を期待している。ふくしま駅伝では中学生が中心でこれだけ活躍できるのは町民としても頼もしく誇りに思う。今後も子供たちが大きく成長できる各種事業を行っていただきたい。幼児等が遊べる室内施設が少ないので、施設の充実を図ってほしい。		C
重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	5. 文化活動の推進		
主要項目	①町民主体の文化活動の充実 ②体験交流館（学びいな）の利活用の推進		
自己評価	新型コロナウイルスによる行動制限が廃止されても、演劇や映画などを劇場に出向いて鑑賞する機会が減っているため、ファミリーシアターの開催は有効かつ好評であった。体験交流協会などの事業は中止や縮小したものもあるが、定期的に開催する学びいなの協働清掃等を通して会員が交流し、語り合える機会を設けた。今後も団体の活動意欲が衰えることがないように見守り、支援しながら生涯学習の振興と啓発に力を入れていきたい。		C
外部評価	ファミリーシアターは情操を育む上で効果的である。また、各種団体の文化活動については、引き続き事業の後援など支援をお願いする。学びいなでは様々な事業が開催されているが、まだ伸び代があると感じており、さらなる拡充を期待する。		C

評価基準	自己評価	A：大きく上回る	B：やや上回る	C：目標達成	D：やや下回る	E：大きく下回る
	外部評価	A：期待以上	B：やや上回る	C：期待どおり	D：やや下回る	E：期待以下

令和５年度 猪苗代町教育委員会

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	6. 地域を担う人材の育成		
主要項目	①絆づくり事業による交流の充実		
自己評価	<p>「母から子への手紙」は、前年度応募者へのPRハガキ送付に加え問い合わせの対応に配慮したため、概ね目標どおりの応募総数となった。懇親会は見合わせたが、その他のおもてなしを徹底し、概ねご満足いただいたように感じた。次年度以降も交流活動等を通して心の育成を図っていききたい。また、「思い出の絵手紙」では、新型コロナウイルスにより生活を制限された子どもたちが思い出を見つけて描いてくれたことを嬉しく感じた。今後も関係機関と協力して心身の健全育成に努めたい。</p>		C
外部評価	<p>「母から子への手紙」は、応募数が目標を若干下回っているものの、22回も続けていることが素晴らしい。審査活動を通してお母さんが自分を見つめ直す機会になる。「思い出の絵手紙」は、子どもの肯定感を高める効果があるので、今後も続けて欲しい。「青少年の主張大会」は、町のために何ができるかを子どもが考える機会づくりのため、一層ご支援いただきたい。</p>		C

評価基準	自己評価	A：大きく上回る	B：やや上回る	C：目標達成	D：やや下回る	E：大きく下回る
	外部評価	A：期待以上	B：やや上回る	C：期待どおり	D：やや下回る	E：期待以下



